

カイコに学ぶ

秋山 幸也

※相模原市立博物館学芸員



その3

カイコの一生

—卵から成虫まで—



①カイコはなんのなかま？

まず、クイズを出してみます。つぎの生きものの中で、カイコに近いなかまはどれでしょう？

Q

- A ミミズ
- B モンシロチョウ
- C モスラ

正解は…Bのモンシロチョウです。カイコは、蛾という昆虫で、チョウのなかまです。ただし、カイコの幼虫はニョロニョロした細長い生きものです。だから、からだの形で言えば、ミミズに近いと言えます。そして、モスラというのは怪獣映画のゴジラシリーズに出てくる昆虫型の怪獣ですが、その幼虫期はカイコにそっくりです。どれも間違いとは言えません。でも、図書館などにある図鑑の考え方に合わせると、Bのモンシロチョウがいちばん近いなかまということになります。

②卵からイモムシへ

カイコは昆虫なので、はじめは卵で産まれます。卵からふ化したカイコは真っ黒で毛が生えています。つまり、産まれたばかりは毛虫です！それが、エサとなるクワの葉を食べて1日たつと、もう白と黒のまだらもようになってきます。

ここから25日くらいかけて、あいだに4回の脱皮をして、たくさんのクワを食べて大きなイモムシになります。そしてクワを急に食べなくなったかと思うと、首を振って糸をたくさんはきはじめます。ひたすら自分のまわりに糸を吐き続けて、2日くらいすると繭が完成するのです。



ミミズ

モンシロチョウ



卵から^ふか^か化したばかりの
カイコ



クワを食べ始めて
2日目のカイコ



③繭から成虫へ

繭の中でカイコはさなぎに変身します。そうして2週間ほどすると、さなぎから成虫へと羽化します。成虫はまだ繭の中なので、口から繭をほぐす液を出して繭に穴をあけ、外へと出ます。カイコの成虫は蛾ですから、前に2枚、後ろ側に2枚のはねを持っています。でも、飛ぶことはできません。人間がカイコを飼いはじめてから約5000年のあいだに、カイコは飛ぶことをやめてしまいました。そのぶん、幼虫はクワをたくさん食べて大きな体になり、大きな繭をつくるようになりました。メスはたくさんの卵を産むために大きなお腹を持って羽化します。

カイコの成虫は、繭をほぐすための液を出す口はありますが、食べたり飲んだりするための口はありません。オスとメスが交尾をしてメスが産卵する間も何も食べず、飲まずに1週間ほどで弱って死んでしまいます。ちょっとあっけないのですが、これがカイコの一生です。

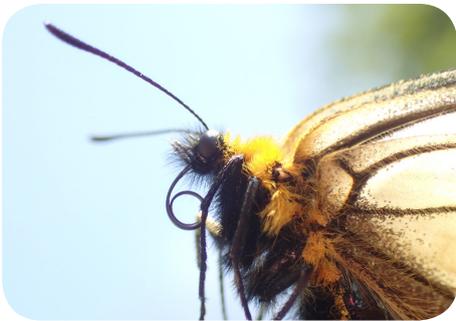
カイコの繭まゆ



繭まゆをほぐして出てきたカイコ



ストロー状の口をもつ
ウスバシロチョウ



カイコの成虫には食べる
ための口がない



カイコの成虫は、
食べたり飲んだりし
ないの？
びっくり！



→その4

カイコを知ろう

—体の形と模様—